

卒業論文・卒業研究の要旨

論文題目	イソクズガニ背甲に付着するカイメン類から得られた <i>Haplosyllis</i> 属多毛類 (シリスコ) の分子同定
氏名	八尋 菜々花
メジャー	生物学
マイナー	博物館学・化学
<p>(要旨)</p> <p><i>Haplosyllis djiboutiensis</i> Gravier, 1900 は汎世界的に分布するシリスコ多毛類の一種である。オーストラリアやイギリスなどインド太平洋域を中心に報告されており、形態的区別が困難なものの遺伝的に区別できる複数の集団を含むことから種複合体 species complex として扱われている。現在、本種複合体は分子系統解析の結果とわずかな形態的差異に基づいて区別される 8 系統を含む。日本沿岸における <i>H. djiboutiensis</i> の発見記録は 2 例のみであり、いずれの標本も <i>H. djiboutiensis</i> 種複合体のどの系統に属するかが不明である。2025 年に千葉県勝浦市で採集したイソクズガニ <i>Tiarinia cornigera</i> Latreille, 1825 の背甲に付着した多骨海綿目の一種 <i>Poeciloseclerida</i> sp. 中から <i>H. djiboutiensis</i> の 2 標本が得られた。本研究では採集した千葉県産 <i>H. djiboutiensis</i> 標本の分子系統解析と形態観察を実施した。その結果、採集した 2 標本はともに <i>H. djiboutiensis</i> 種複合体の Lineage 6 に属すると同定された。Lineage 6 はオーストラリアからフィリピンにかけて分布する標本で構成される系統であり、本研究によって Lineage 6 の北限記録が更新された。</p>	
<p>(指導教員の推薦のコメント)</p> <p>本研究は日本産 <i>H. djiboutiensis</i> 種複合体の標本およびそれに付随する分子生物学的情報に基づいた分類学的研究である。本論文はインド太平洋域における本種複合体の分布や多様性を考察する上で不可欠な知見を提供するだけでなく、宿主であるカイメン類を特定したことで、本種複合体と宿主の相互関係を解明するための基礎を築いた。自らのフィールドワークで得た標本から研究課題を見出し、専攻演習や授業を通じて習得した知識・技術を駆使して完成された本研究は、後輩学生の模範となるものである。よって、優秀卒業論文・卒業研究として推薦する。</p>	